

さいたま市文化財時報

かや
榎りぼーと

第69号

平成29年度新指定文化財

さいたま市教育委員会は、平成30年3月28日付けで、「砂氷川社のクスノキ」および「砂氷川社のモミ」を市の天然記念物として指定しました。

これにより、市内に所在する市指定文化財は445件、国・県指定を含めた総件数は531件となりました。この他に市内には13件の国登録有形文化財があります。(平成30年4月1日現在)



▲砂氷川社のクスノキ



▲砂氷川社のモミ

●さいたま市の新指定文化財(平成29年度)

種別	名称	員数	所在地	所有者
天然記念物	砂氷川社のクスノキ	1本	さいたま市見沼区 東大宮7-36-11	宗教法人 氷川社
天然記念物	砂氷川社のモミ	1本		



クスノキ▲

モミ▲

▲砂氷川社 境内の様子

写真の左側にある樹木がクスノキです。

手前の手水舎の屋根や他の樹木で隠れていますが、写真右側にモミが生育しています。

砂氷川社は、JR 宇都宮線東大宮駅から南東に550mの住宅街の一角に位置しています。境内には、シラカシ、ムクノキ、ケヤキなどが生育し、クスノキとモミは社叢の樹木の主木となっています。境内は氏子によってよく管理されており、住宅地に残された貴重な緑地帯となっています。

同社は旧砂村の総鎮守であり、江戸時代後期の地誌『新編武蔵風土記稿』の堀崎村(砂村の隣村)の項には、「氷川社 当村及び砂村の鎮守なり」との記載があります。

新指定 天然記念物 砂氷川社のクスノキ

砂氷川社の境内にあり、社殿の西側に育成しています。高さ23.5m、幹回り3.3m、根回り5.7m、枝張りは北へ7.40m、東へ8.50m、南へ10.30m、西へ7.10m。

クスノキはクスノキ科の常緑高木です。暖地に生え、樹皮は縦に浅く裂けます。葉はやや革質で表面につやがあり、3本の脈が目立ちます。材全体に芳香があり、樟腦しょうのうの成分を含みます。関東以西、九州、台湾、中国に分布しています。関東地方でもよく神社の境内に植えられています。

新指定 天然記念物 砂氷川社のモミ

砂氷川社の境内にあり、社殿の東側に育成しています。高さ28.5m、幹回り3.1m、根回り6.8m、枝張りは北に7.20m、東に11.30m、南に9.30m、西に3.70m。

モミはマツ科の常緑針葉樹であり、雌雄同株で、5月に開花します。球果は円柱状で10月ごろ熟します。モミの分布域は常緑広葉樹林帯と夏緑広葉樹林帯の両方にまたがっており、本州中部では海拔700～800mで多くみられます。

市指定有形文化財(建造物)「大門宿脇本陣表門」の茅葺屋根が葺き替えられました



▲葺き替え前



▲葺き替え工事中



▲葺き替え後

大門宿は、徳川将軍の日光社参のためにつくられた日光御成道の宿場町です。「大門宿脇本陣表門」は、安永5年(1776)の、徳川家治による日光社参の折に建立されたと考えられています。当時は、「西本陣」ないしは「西御本陣」と呼ばれていました。御成道を挟んで斜め向かいに建つ「大門宿本陣表門」(県指定史跡)とともに、江戸時代の大門宿の様子を現在に伝える貴重な建造物です。

近年は茅葺屋根の経年劣化が進み、屋根全体が痩せ、一部崩落も見られました。ネットやロープ等で応急的に養生されていましたが、平成29年度に、既存の屋根茅と竹下地全てを取り替え、茅の葺き直しが行われました。

この門は現在も日光御成道に面して建っており、歩道から外観を見る事ができます。新たに葺き替えられたこの機会に、ぜひご覧ください。



▲消えかかっていた妻飾りも、葺き替えにより復活しました。
上：左側面(「水」の文字)
下：右側面(「寿」の文字)

さいたま市内指定文化財等公開カレンダー 平成30年7月から9月まで

市内各地で開催される行事で指定文化財が公開されるほか、「発掘調査成果発表会」や「最新出土品展」を文化財保護課主催で予定していますので、ぜひお出かけください。見学や公開に関する詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。文化財保護課(048-829-1723)までお問い合わせください。天候等により、中止や延期の場合があります。

名称	日時・場所・内容
宿の祭ばやし	7月14日(土) 14時から 大久保神社(桜区宿69) 大久保神社で公開される祭囃子で、宿地区を神輿とともに巡行します。祭りの終盤には、塚本、五関のお囃子と競演があります。
神田の祭りばやし	7月14日(土) 14時30分から 八雲神社(桜区神田550) 江戸神田囃子の系統の五人囃子で、八雲神社から神輿とともに、月読社をはじめ神田地区内を巡行します。
秋葉ささら獅子舞	7月14日(土) 秋葉神社(西区中釘818)・永昌寺(西区中釘1699) 10時に中釘自治会館を出発し、11時50分頃秋葉神社境内で獅子舞を披露します。また、16時より永昌寺三尺坊でも披露します。
田島の獅子舞	7月14日(土) 16時から 田島氷川社(桜区田島4-12-1) 3頭の獅子が笛の音にあわせ、太鼓を打ちながら優美に舞います。
鹿手袋の祭ばやし	7月15日(日) 10時から 鹿手袋会館(南区鹿手袋6-4-11) 神輿とともに山車に乗ったお囃子が地区内を巡行します。
駒形の祭ばやし	7月15日(日) 12時から 須賀神社(緑区中尾1430-3) 須賀神社で公開される祭囃子で、駒形地区を神輿とともに巡行します。宵山(前日の夜)には、お囃子に合わせオカメ・ヒョットコや獅子舞も披露します。
砂の万灯	7月15日(日) 16時から 八雲神社(見沼区東大宮1-13-9) 7組の万灯組が、悪疫退散等を祈願して万灯を境内に並べます。万灯は夕方から点灯され、日中とは違う趣が楽しめます。
浦和まつり	7月22日(日) 14時15分から 中山道浦和宿(浦和区仲町他) 浦和まつり(みこし渡御)に以下の文化財保存団体が参加します。 木遣歌、駒形の祭ばやし、宿の祭ばやし、神田の祭りばやし、鹿手袋の祭ばやし これに併せて、「仲町獅子王祭獅子頭」(市指定有形民俗文化財)を仲町御酒所にて公開します。
氷川女體神社の名越祓え	7月31日(火) 15時から 氷川女體神社(緑区宮本2-17-1) 悪疫退散、健康を祈願する夏越しの行事で、人型に切った紙を川へ流し、穢れを取り除いた後、マコモで作った大きな輪を歩いてくぐります。
最新出土品展	9月11日(火)～9月24日(祝) 9時～16時30分 さいたま市立博物館 特別展示室 平成29年度を中心に、市内各所で発掘した出土品や、調査の様子を展示します。 ※9月18日(火)は休館です。10月から11月にかけて、市内の商業施設・公共施設等で巡回展示します。
さいたま市内遺跡発掘調査成果発表会	9月15日(土) 10時30分～15時30分 さいたま市立博物館 講座室 市内遺跡の発掘調査成果を各調査担当者が発表します。また、終了後に「最新出土品展」会場において、各調査担当者が展示解説を行います。
岩槻の古式土俵入り(笹久保地区)	9月16日(日) 15時から 篠岡八幡大神社(岩槻区笹久保810) 幼稚園から小学生までの子どもたちが、化粧回しを身につけ、古くから伝わる土俵入りの型を演じます。子どもの健康、安全を祈願して行います。